

ぜんぶでいくつ？ 視点2

1. 単元名 かけ算（1）（2年生 10月）

2. 改善の動機・意図

本時では、前時まで学習してきた乗法九九を用いて課題解決を図る。カップケーキの箱の中身を少しずつ提示することで、図全体への関心を持たせるとともに、数のまとまりに目を向けさせたい。そして、1つ分の数に目を向ければ、全体の数を求められることに気付かせ、既習の乗法の式を活用して全体の数を表す力をつけていきたい。

児童が同じ数のまとまりに目をつけ、全体の数を表す活動を通して交換法則に気づき、乗法の計算の意味と性質の理解をより一層確実にしていきたいと考え、本実践を立案した。

3. 授業の構想

T1 はこの中にカップケーキは、ぜんぶで何こありますか？
かけ算の式で表しましょう。



【本時の並べ方】

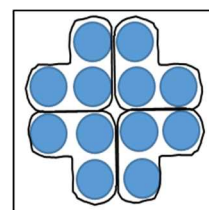
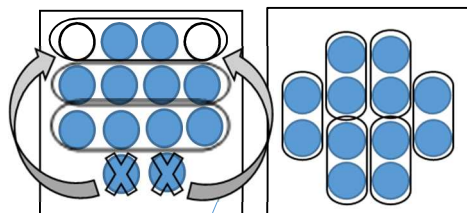


- C1 数えてみると12こあるよ。
- C2 今までの並び方とちがうから難しいな。
- C3 すぐにはかけ算の式にあらわせないな。

<かけ算のしきであらわすにはどうしたらいいかな>

- C4 同じ数のまとまりをさがせばできそうだよ。
- C5 カップケーキを移動させて考えると、4のまとまりが3つあるから 4×3 だね。
- C6 2のまとまりが6つあったから 2×6 になるね。
- C7 3のまとまりが4つあるから 3×4 だね。
- C8 同じ数でもいろいろな式で表せたよ。
- C9 3×4 と 4×3 は反対だよ。
- C10 初めての並び方でも、今までみたいに同じ数のまとまりに目を付けて、それがいくつあるかと考えることでかけ算の式で表すことができるんだね。

同じ数のまとまりでも
かこみかたによって
考え方がたくさんあるね



- T2 答えが12になるかけ算の式は他にないかな。
- C11 2×6 をいれかえてもできそう。
- C12 ほんとだ！6ずつのまとまりで囲むことができたよ！
- C13 かけられる数とかける数を入れ替えても答えは同じだね。